

日本政府は新型コロナウイルス感染症対策として医療機材を支援

ブラジルにおける新型コロナウイルス感染症対策として、日本政府は、医療機材の支援を実施することを決定しました。日本政府が、ブラジル政府のニーズを踏まえ、またブラジルとの友好協力関係に鑑み、ブラジルの保健・医療体制の強化に寄与するため、UNOPSを通じて医療機材を供与するものです。

具体的には、約467万ドルの支援により、CTスキャナーやX線撮影装置等の医療機材を供与することを決定し、今後、医療機関に届けられる予定です。

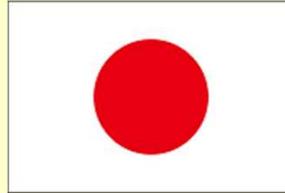
日本政府は、本支援に加え、国際機関を通じた支援、地方政府等への寄付、専門家会議の開催、下院特別委員会での日本の取組紹介などを実施してきており、これらの取組がブラジルの保健・医療体制の強化に寄与し、感染対策と経済活動を両立させた、新しい日常の創造を力強く応援していきます。



日本の新型コロナウイルス感染症対策に係るブラジルへの支援

国際機関を通じた支援

4月、日本政府は、PAHOを通じた中南米における感染拡大防止・予防のための緊急支援の実施を決定しました。ブラジルへは約48.5万ドルの支援により、保健・医療体制の強化を行います。



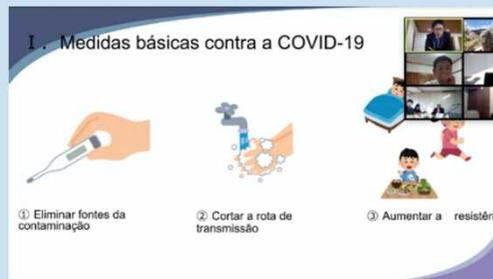
下院特別委員会での日本の取組紹介

9月、在ブラジル日本大使館は、連邦下院議会国際局長主催の特別委員会において、日本の対面授業再開のための取組をグッドプラクティスとして紹介しました。



日本の取組を紹介

3月および7月、在ブラジル日本国大使館は、PAHO(汎米保健機構)およびブラジル保健省と、また、10月、ブラジル日本文化福祉協会と、日本の新型コロナウイルス感染症対策を紹介する専門家会議をオンラインで実施しました。



DF政府への物資支援

6月、連邦直轄区政府に対して、在ブラジル日本大使館及び館員個人による寄付金で購入した、感染予防のための物資を寄付しました。



その他、各地の在ブラジル総領事館・領事事務所、JICAおよびブラジル進出日本企業による様々な支援を実施しています。

日本政府はアマゾン森林火災対策として緊急支援物資を供与

ブラジル・アマゾン森林火災に対し、日本政府より緊急支援物資を供与しました。これは、日本政府が、ブラジル政府のニーズを踏まえ、またブラジルとの友好協力関係に鑑み、ブラジル政府による消火活動への協力のため、UNOPSを通じて緊急支援物資を供与することを決定したことを受けてのものです。

具体的には、約82万ドルの支援により、防火服、防火手袋、ヘルメットセットおよび浄水器を供与し、ブラジル環境省IBAMAおよびICMBioの、最前線で消火活動にあたっている関係者に届きつつあります。

2019年9月、消火活動への協力のため、日本政府は国際協力機構（JICA）を通じて緊急援助物資を供与しており、本件はそれに続く2度目の協力となります。

また、日本政府は、これらの消火活動への協力に加えて、中長期的な観点から、ブラジルの森林保全に資する協力を行っており、これからも協力を進めていきます。アマゾン地域の森林保全のためには、当面の消火活動に加えて、違法伐採対策を含む森林消失の根本原因への対処が必要です。アマゾン地域の開発と森林保全を両立した持続可能な開発は可能であると考え、そのために日本は、ブラジルとともに何が必要かを考え、ブラジルとともに具体的なプロジェクトを進めていきます（具体的なプロジェクトは次のページをご覧ください）。



アマゾン森林保全プログラム

課題：農牧業地の拡大による熱帯雨林への違法開発圧力の高まり

自然環境保全プログラム

◆ -アマゾン森林保全・違法伐採防止のためのALOS衛星画像の利用プロジェクト（2009-2014）

◆ -“フィールドミュージアム”構想によるアマゾンの生物多様性保全プロジェクト（2014-2019）



◆ - 先進的レーダー衛星及びAI技術を用いたブラジルアマゾンにおける違法森林伐採管理改善プロジェクト（2020-2025）

【内容】

1. 違法伐採対策・取り締まりに関する提言
2. 取り締まり優先地域を特定するための正確な基準策定
3. 森林伐採予測システムの開発
4. 森林伐採管理・対策効率向上

